



平成30年4月27日

各 位

会社名 株式会社環境管理センター
 代表者名 代表取締役社長 水落 憲吾
 (JASDAQ・コード4657)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成30年6月期(平成29年7月1日～平成30年6月30日)の業績について、平成29年8月14日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成30年6月期 通期業績予想の修正(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	4,000	220	200	150	32円07銭
今回修正予想(B)	3,500	△200	△220	△240	△51円31銭
増減額(B-A)	△500	△420	△420	△390	—
増減率(%)	△12.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年6月期)	3,799	182	171	144	31円88銭

(2) 修正の理由

前回予想(平成29年8月14日公表)のとおり、地球温暖化対策の必要性が増す中、風力、太陽光、バイオマスなど新エネルギー関連分野のアセスメント業務の受注は引き続き活発です。期初に重点分野として掲げた受託試験分野も、各メーカーが環境を付加価値とした商品の開発を進めており、堅調に推移しています。

一方、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた市街地再開発事業は、土地の仕入(土壌汚染対策)、既存の建物解体(アスベスト対策)のフェーズから、当社の業務の発生が少ない建屋建設のフェーズに移ってきており、期初の想定以上に受注環境が悪化しています。また、平成28年に資本業務提携した株式会社フィールド・パートナーズとの連携については、事業環境の変化を受け、期初想定を受注を確保するには至らない見込みです。

その結果、売上高は前回予想比500百万円減の3,500百万円となる見込みです。売上高の減少を受け、固定費の回収が進まなかったことから、営業利益は同420百万円減の200百万円の営業損失に、経常利益は同420百万円減の220百万円の経常損失に、当期純利益は同390百万円減の240百万円の当期純損失となる見込みです。

2. 配当予想の修正について

(1) 平成 30 年 6 月期 配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想		5 円 0 0 銭	5 円 0 0 銭
今回修正予想		0 円 0 0 銭	0 円 0 0 銭
当期実績	0 円 0 0 銭		
前期実績	0 円 0 0 銭	3 円 0 0 銭	3 円 0 0 銭

(2) 修正の理由

通期業績予想の修正に伴い、利益剰余金がマイナスとなり配当可能原資を確保できないことから、誠に遺憾ながら配当予想を無配に修正いたします。

以 上

問合せ先 管理部長 浜島直人

電 話 042-673-0501（直通）

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後の多様な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。